

選択科目ガイド

令和7年度入学生版



学校法人 吉備高原学園

吉備高原学園高等学校

KIBIKOGENGAKUEN SENIOR HIGH SCHOOL

平成17年11月
教務課 作成
平成25年 8月
平成29年 2月
令和 元年 7月
令和 4年 7月
令和 7年 2月
教務課 改訂

目 次

専 門 コ ー ス（2．3年生）	．．．．．	2
専門基礎科目（1年生）	．．．．．	34

注1）選択科目ガイドはそれぞれの学年で必要なページを抜粋して作成しています。

2・3年生	．．．	2ページ	～	33ページ
1年生	．．．．．	35ページ	～	41ページ

それぞれ必要な時期に配布します。

注2）授業の内容について、次年度以降は、カリキュラムの変更等で内容が変わる場合もあります。

（専門コース編）

目 次

健康スポーツコース	．．．．．	2
福祉ボランティアコース	．．．．．	5
インターナショナルコース	．．．．．	8
情報システムコース	．．．．．	10
クラフトデザインコース	．．．．．	13
陶芸デザインコース	．．．．．	16
緑化システムコース	．．．．．	18
生活デザインコース	．．．．．	23
キャリアデザインコース	．．．．．	26
マンガ・アニメーションコース	．．．．．	31

健康スポーツコース

【概要・目標】

- 授業を通して、運動能力や、生涯スポーツに関する知識・技術を学習し、本校でのスポーツリーダーとなる能力や態度を身につける。
- スポーツと健康との関わりを大切さを理解し、一人ひとりが自分の能力を最大限に発揮し、健康的な社会づくりに貢献できる能力を身につける。

【備考】

《注意点》

競技としてのスポーツ、健康な身体を維持するためのスポーツや運動に興味があり、しっかりと学びたい人のためのコース。

【カリキュラム】

カリキュラム（科目） 教科：体育				
科 目	単位数	対象学年	開講期間	備 考
スポーツ概論	2	2 年	通年	
スポーツ概論	2	3 年	通年	
ス ポ ー ツ I	2	2 年	通年	
ス ポ ー ツ I	2	3 年	通年	
ス ポ ー ツ II	2	2 年	通年	
ス ポ ー ツ II	2	3 年	通年	
スポーツ総合演習	2	3 年	通年	

【授業概要】

科 目	単位数	対象学年	開講期間	備 考
スポーツ概論	2	2 年	通年	

《学習目標》

運動に関する科学的な知識を身につけ、骨や筋肉の仕組み、スポーツ障害や応急処置、スポーツと栄養の関係など、健康の保持増進やジュニア期のスポーツライフマネジメントについて学ぶ。

《学習内容》

- ・考えてみよう、私たちのスポーツ
- ・スポーツは心と体を育て、仲間をつくる
- ・運動技能を高め実力を発揮する

《授業計画》

- ・心肺蘇生法やスポーツ栄養学を習得し、さらに幅広く、ジュニア期から生涯にわたる豊かな人生につながるスポーツライフについて学習する。

科 目	単位数	対象学年	開講期間	備 考
スポーツ概論	2	3 年	通年	

《学習目標》

運動に関する科学的な知識を身につけ、骨や筋肉の仕組み、スポーツ障害や応急処置、スポーツと栄養の関係など、健康の維持増進やジュニア期のスポーツライフマネジメントについて学ぶ。

《学習内容》

- ・やってみよう、体カトレーニング
- ・競技力を高めるトレーニング
- ・スポーツ指導者をめざそう

《授業計画》

- ・心肺蘇生法やスポーツ栄養学を習得し、さらに幅広く、ジュニア期から生涯にわたる豊かな人生につながるスポーツライフについて学習する。

科 目	単位数	対象学年	開講期間	備 考
ス ポ ー ツ I	2	2・3 年	通年	2・3 年 合同授業

《学習目標》

採点競技及び測定競技の特性について理解し、計画的な運動の実践を通して、個々の課題克服に向けて自主的に取り組み、多様な技能を最大限発揮して競技をすることができる能力を育てる。また、データを基に自己の記録分析を行う。

《学習内容》

- (1) 体操競技
- (2) 陸上競技
- (3) 水泳競技

《授業計画》

- 2・3 年生合同で授業を行っている。
- (1) (2) については、数種目を選択して学習している。
- (3) については、スポーツ総合演習と兼ねており、校外で集中講義として行っている。

科 目	単位数	対象学年	開講期間	備 考
ス ポ ー ツ II	2	2・3 年	通年	2・3 年 合同授業

《学習目標》

球技の特性について理解し、課題の解決を目指し、計画的な運動の実践を通して、専門技能を高めるとともに、競技の企画、運営方法、審判法を学ぶ。

《学習内容》

- | | | | |
|--------------|------------|----------|------------|
| (1) バスケットボール | (2) ハンドボール | (3) サッカー | (4) ラグビー |
| (5) バレーボール | (6) テニス | (7) 卓球 | (8) バドミントン |
| (9) ソフトボール | (10) 野球 | (11) ゴルフ | |

《授業計画》

- 2・3 年生合同で行っている。
- (11) については、スポーツ総合演習と兼ねて、校外施設で行っている。

科 目	単位数	対象学年	開講期間	備 考
スポーツ総合演習	2	3 年	通年	

《学習目標》

校外の体育施設を利用し体験学習をすることで、様々な運動技能を習得し、生涯スポーツを
実践する態度を身につける。また、社会体育の実態現状を認識するとともに、利用の仕方・
マナーを習得する。

《学習内容》

ゴルフ実習、スポーツクラブ実習、スキー実習、スポーツ栄養学調理実習、心肺蘇生法、
健康科学(測定)

《授業計画》

スポーツⅠ・Ⅱの授業と兼ね合わせて行う。
関連学園の指導者、外部講師による授業を実施。

福祉ボランティアコース

【概要・目標】

- ・福祉に関する基礎的・基本的な学習を通して社会福祉の理念とその社会的な意義について
学び、福祉に対する関心を深める。
- ・基礎的な介護技術や援助技術の学習を通じて、総合的な介護活動が実践できる基礎的な知
識および技術を習得する。
- ・高齢者・障害者・幼児との交流活動、ボランティア活動を通して、思いやりの心、感動す
る心を養い、自分が必要とされていること社会的有用感を実感するとともに、社会をより
よくしようとするソーシャルアクションを展開できる力を養う。

<施設実習>

ふれあい荘（老人福祉センター）、きびハイツ（特別養護老人ホーム）
吉備の里なでしこ（障害者支援施設）、吉備高原子ども園、のびのび小学校

<その他体験実習>

赤ちゃんふれあい体験、手話講座、岡山NPO会館施設見学
吉備高原 DAKARA、吉備中央町福祉まつり

＜注意点＞

- ・交流活動やボランティア活動など、さまざまな人との出会いに積極的に取り組もうとする意欲を持っている生徒の選択を望む。
- ・人権意識を持ち、生命を大切にする心、自立心、思いやりの心、助け合う心など“福祉の心”を大切に思う気持ちが何より大切である。

【カリキュラム】

科目	単位数	対象学年	開講期間
社会福祉基礎	2	2年	通年
社会福祉基礎	2	3年	通年
コミュニケーション技術	2	2年	通年
コミュニケーション技術	2	3年	通年
生活と福祉	2	2年	通年
生活と福祉	2	3年	通年
介護実習	2	3年	通年

【授業概要】

科目	単位数	対象学年	開講期間
社会福祉基礎	2	2年	通年
社会福祉基礎	2	3年	通年

《学習目標》

- ・社会福祉に関する基礎的な知識を習得するとともに現代社会における社会福祉の意義や役割について理解する。
- ・今日的な社会構造やライフスタイルの変化の中で、社会福祉にどのような意義と課題が与えられているかを考える。また、対人援助の知識と技術を取扱い、サービス利用者への理解を促すとともに、個人的な援助、集団及び家族への援助の概要について理解する。

《授業内容》

- ・理論（2年：社会福祉の歴史と福祉社会の課題、高齢者福祉）
（3年：人間関係とコミュニケーション、障害者福祉、
地域福祉の進展と多様な社会的支援制度）

科目	単位数	対象学年	開講期間
コミュニケーション技術	2	2年	通年
コミュニケーション技術	2	3年	通年

《学習目標》

- ・コミュニケーションの楽しみを知り、本質を正しく理解する。
- ・対人コミュニケーションに関心を持ち、基礎的・基本的技術を身につけるとともに、豊かな表現力や指導力、コミュニケーション技術を習得する。
- ・レクリエーション支援の体験・企画・実践を通して、福祉援助活動で活用する能力と実践的態度を養う。

《授業内容》

- ・理論（コミュニケーションの意義と役割、コミュニケーションの基本）
- ・校内実習（歌唱、手話、レクリエーション活動、造形活動）
- ・施設実習 ふれあい荘（老人福祉センター），のびのび小学校，
吉備高原子ども園，吉備の里（障害者授産施設）

科目	単位数	対象学年	開講期間
生活と福祉	2	2年	通年
生活と福祉	2	3年	通年

《学習目標》

- ・高齢者の介護と福祉に関する知識・技術を習得し、高齢者の自己決定に基づく自立生活支援と福祉の充実について考える。
- ・自立を尊重した生活を支援するための介護の役割を理解するとともに、適切かつ安全に介護できるための基礎的な知識と技術を習得し、生活支援が実践できる能力と態度を養う。
- ・基礎的な介護と看護の技術を習得するとともに、介護する側とされる側の体験を通して相手の立場に立つことの重要性を学ぶ。

《授業内容》

- ・理論（人の一生と生活・健康、高齢化の現状と高齢者の特徴、高齢者の自立生活支援）
- ・校内実習（介護の実習：ベッドメイキング、シーツ交換、体位変換、移動介助、身支度の介護、
入浴・清潔保持の介護、食事の介護、ガイドヘルプ）子どもの養護
（看護の実習：バイタルチェック、口腔の清潔、誤嚥と窒息、やけど、骨折）

科目	単位数	対象学年	開講期間
介護実習	2	3年	通年

《学習目標》

- ・児童や高齢者、障害者との出会いを通して、人として生きる意味や人間の存在の重さについて考える。さらに、命の尊さについてについて考えるとともに、深い人間愛に基づく人権感覚の育成を図る。
- ・生活の場としての福祉の現場の概要を理解し、利用者の方とのコミュニケーションの実践を通して対象者の理解を深める。
- ・具体的な実習施設の利用者に合わせたコミュニケーションの方法を考え実践する。

《授業内容》

- ・施設実習 きびハイツ（特別養護老人ホーム），吉備高原子ども園，吉備の里

インターナショナルコース

【概要・目標】

英語の長文読解、リスニング演習、英語会話演習、ディスカッション、ディベート、プレゼンテーションなどの多彩な活動を通じて、語彙力、読解力、表現力を深め、総合的な英語力の向上を目指す。また授業を通じての異文化理解や、夏休みのオーストラリア研修等を通じて諸外国の文化や歴史を学び、グローバルな視野を養うことを目標とする。

※ 感染症の状況を見ながら、海外研修を再開します。

（コロナ禍以前は2年生で2週間のオーストラリアホームステイを実施していました。

次年度以降検討中）

※ 総合英語はキャリアデザインコースと合同で授業を行います。

【求める生徒像】

- ・英語検定３級以上の英語力があること。（希望者は必ず取得しましょう）
- ・男女分け隔てなく、だれとでもコミュニケーションが取れる性格であること。
（少人数クラス・ディスカッションやペアワークを多く行うため、人と話すことが苦手な人はこのコースに向きません）
- ・授業外でも積極的に勉強し、知識を深めていく態度をもっていること。
（学習において受け身の人は、このコースには向きません）

【カリキュラム】

カリキュラム（科目）教科：英語				
科目	単位数	対象学年	開講期間	備考
ディベート・ディスカッションⅠ	2	2年	通年	
総合英語Ⅰ	2	2年	通年	キャリアデザインコースと合同授業
エッセイ・ライティングⅠ	2	2年	通年	
ディベート・ディスカッションⅡ	2	3年	通年	
総合英語Ⅰ	4	3年	通年	キャリアデザインコース文系と合同授業
エッセイ・ライティングⅠ	2	3年	通年	

【授業概要】

科目	単位数	対象学年	開講期間	備考
ディベート・ディスカッションⅠ・Ⅱ	2	2・3年	通年	

《内容》

ALT(Assistant Language Teacher)と日本人教員により授業を行います。日常的な話題や社会的な話題について、伝える内容を整理し、英語で話したり書いたりすることで伝えあう技術を身につけます。

《授業計画》

2年次では身近な話題について、英語を話す、聞く練習を繰り返し行い、英語を使ったコミュニケーションに慣れることに重点を置きます。言葉だけでなく、やりとりをする際のジェスチャーや表情、イントネーションなど、コミュニケーションに必要なスキルをネイティブの先生とのやりとりを通じて身につけます。

3年次ではより複雑な話題についても自分の意見を整理し、伝えたり、議論したりするテクニックを身につけます。「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ」「総合英語Ⅰ」で身につけた知識を会話の場面で活かせるよう、練習します。

科目	単位数	対象学年	開講期間	備考
総合英語	2（2年次） 4（3年次）	2・3年	通年	キャリアデザイン コースと合同授業

《内容》

文法学習やリスニング演習を中心とし、大学入試等の受験にも通用する高度な英語力の習得を目指します。

※2年生ではキャリアデザインコース全員と、3年生ではキャリアデザインコースの文系生徒と共通の授業です。

《授業計画》

専用テキストを用い、普段の授業では深く学習しないところまで文法事項を掘り下げて学ぶ。またリスニング演習を行い、英検、TOEICにも対応できる英語力をつける。

科目	単位数	対象学年	開講期間	備考
エッセイライティングⅠ・Ⅱ	2	2年	通年	

《内容》

「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ」「総合英語Ⅰ」などで身につけた英語知識を用い、エッセイ（小論文）ライティングを行います。思いついたことをただ書くのではなく、Intro（序論）Body（本論）Conclusion（結論）というエッセイ形式で文章をまとめるスキルを身につけます。

《授業計画》

最初は英作文の基本から学び、徐々に書く分量を増やしていきます。ある程度正しい英文が書けるようになったら、エッセイ形式の論理的な文章を書く練習を行います。

情報システムコース

【概要・目標】

2年次に全員履修する普通教科「情報Ⅰ」では、教科書の内容の他に実習として、ワープロソフトを使った実習を計画している。

本コースでは普通教科「情報Ⅰ」からさらに踏み込んだ内容を扱い、情報に関するスキルを身につけることを目標としている。

プログラミング言語は、近年では入門として学ぶことの多い『python』を学ぶ。また収集したデータを情報として活用できるように、データベースや、パワーポイントによるプレゼンテーションなどにも取り組む。

3年次には、文化祭に向けてゲーム等の作成も行っていく。

なお、上記の情報関係の勉強と平行して下記の検定が実施されている。

ホームページ作成検定 4級～1級

情報処理技能検定（表計算） 4級～初段

情報処理技能検定（データベース） 4級～1級

【カリキュラム】

カリキュラム（科目） 教科：情報				
科 目	単位数	対象学年	開講期間	備 考
課 題 研 究	2	2年	通年	
課 題 研 究	2	3年	通年	
情報の表現と管理	2	2年	通年	
情報セキュリティ	2	3年	通年	
情報テクノロジー	2	3年	通年	
情報システムのプログラミング	2	2年	通年	
情 報 実 習	2	3年	通年	

【授業概要】

科 目	単位数	対象学年	開講期間	備 考
課 題 研 究	2	2年	通年	

《内容・目的》

HTMLとCSSを用いて、目的に応じたホームページ作成を学ぶ。また効率の良い処理手順を自ら考えることで問題解決能力の育成を目指す。

《授業計画》

HTMLとCSSの基礎知識を学び、ホームページ作成実習を行う。

本コースの2年次で履修する「情報システムのプログラミング」にて、pythonを学ぶため、プログラミングとの違いや、プログラムの構成の差をより深く学習することができる。

科 目	単位数	対象学年	開講期間	備 考
課 題 研 究	2	3 年	通年	

《内容・目的》

2年次に習得した知識を用いて、情報系国家試験に向け学習する。

《授業計画》

情報系国家試験対策の学習を通して、専門的な知識の習得を図る。

科 目	単位数	対象学年	開講期間	備 考
情報の表現と管理	2	2 年	通年	

《内容・目的》

情報を表現するためのメディアの特性や性質について学習する。また、実習を通して確認し、理解を深める。

《授業計画》

アプリケーションソフトウェアを用いた情報伝達の技法やデザインの方法について学習する。

科 目	単位数	対象学年	開講期間	備 考
情報セキュリティ	2	3 年	通年	

《内容・目的》

セキュリティの内容を中心に、知識を身に付け、資格取得に向け学習していく。

《授業計画》

ITパスポートの一部になる内容で、基礎知識を身に付け、資格取得に向け学習する。

科 目	単位数	対象学年	開講期間	備 考
情報テクノロジー	2	3 年	通年	

《内容・目的》

コンピュータのソフトウェアとハードウェアに関する知識と技術の習得と、コンピュータシステムに関する構成要素と関係を学習する。

《授業計画》

ソフトウェアとハードウェアの役割や分類と働きについて学習する。

科 目	単位数	対象学年	開講期間	備 考
情報システムのプログラミング	2	2 年	通年	

《内容・目的》

目的に応じたプログラム作成を通して、効率の良い処理手順を自ら考え、問題解決能力の育成を目指す。

また、プログラム作成の基礎知識としてpythonを学ぶ。

《授業計画》

本授業では、近年では入門として学ぶことの多いプログラム言語である

「python」の基礎的な部分を解説・実習していく。

これに併せて、アルゴリズム（処理手順）についても学習していく。問題を解決するためのアルゴリズムは、1つだけでなく複数ある。ただ、それが必ずしもコンピュータで最適なアルゴリズムとは限らない。ここでは、プログラムで使われる典型的なアルゴリズムを、pythonのプログラムを例にあげて学習していく。

プログラム言語は、本を見るだけでは、十分に理解出来ない。プログラムの作成・実習を通して、pythonとプログラムの作成方法を身につけていく。

・注意事項

プログラム言語の修得には多くの苦労が生じます。

「やる気」と「根気」のある人を望みます。

科 目	単位数	対象学年	開講期間	備 考
情 報 実 習	2	3 年	通年	

《内容・目的》

データベースの仕組みと運用方法を理解させる。

データベースソフトを使用してデータベースの構築方法を学習し、その技術を学ばせる。情報処理技能検定試験合格をめざす。

《授業計画》

データベースソフトを使用して、その操作方法を学習し、検定問題に取り組む。

クラフトデザインコース

【概要・目標】

木と漆を使用した作品制作を行います。制作を通して、デザインの方法、木材加工の方法、塗装技術を学びます。

2年生では①鳥城彫り、②木エロクロによる器制作、③漆を使った漆芸作品制作を実習します。

3年生になるとより専門的な技術を獲得しながら卒業制作を制作します。

【備考】

ものづくり・美術・工芸に興味関心がある人。

安全に制作実習をおこなうため、実習授業では刃物や電動工具、機械の取り扱い時に注意力および安全意識をしっかりと持ったうえで取り組むことが必要です。作業服の正しい着用、安全確認、整頓、清掃等の安全管理、機械操作に自主的に意欲を持って取り組むことができる人。

周囲との作業協力ができる人

【カリキュラム】

カリキュラム（科目） 教科：工芸(学)				
科 目	単位数	対象学年	開講期間	備 考
クラフトデザイン	2	3年	通年	
木材加工	3	3年	通年	
漆工芸	3	3年	通年	
クラフトデザイン	2	2年	通年	
木材加工	2	2年	通年	
漆工芸	2	2年	通年	

※年間を通して2年、3年各2回程度校外研修を計画しています。

（伝統工芸展、大原美術館等）

また、塗り箸、アクセサリ、写真スタンド、ティッシュケースなど文化祭用の制作も計画しています。

【授業概要】

科 目	単位数	対象学年	開講期間	備 考
クラフトデザイン	2	2年	通年	

《内容・目的》

スケッチを通して、デザインの仕方を学ぶ。

作品の構想やイメージ画も描く。3年生においても継続して学習する

《授業計画》

- ・草花のスケッチ
- ・鳥城彫り

科 目	単位数	対象学年	開講期間	備 考
木材加工	2	2 年	通年	

《内容・目的》

木材についての知識や扱い方を学ぶ。又、道具の安全な扱い方も学ぶ。
木工クロの基本的な扱い方を実習する。

《授業計画》

- ・小皿、皿、鉢を木工クロで制作

科 目	単位数	対象学年	開講期間	備 考
漆工芸	2	2 年	通年	

《内容・目的》

漆についての基礎的な知識や扱い方を学ぶ。

《授業計画》

- ・拭き漆(小皿)
- ・木地固め、下地、中塗り、上塗り
- ・色漆を使った漆絵制作

科 目	単位数	対象学年	開講期間	備 考
クラフトデザイン	2	3 年	通年	

《内容・目的》

3 年次からは各自の課題を設定し、集成材や無垢材を使用した家具や、暮らしの中で使用できる道具を制作する(木材加工)と、木工ろくろを使用した木地作りや2 年時の漆工芸をふまえた塗装技術を基に漆芸作品を制作する(漆芸)の2 つに分かれる。2 年次よりさらに専門的に進めることにより完成度を高めた作品づくりをめざし制作する。

卒業制作に関することについての調べ学習も含めて、研究発表用の資料を制作する。

《授業計画》

- 卒業作品の制作。
- 文化祭に発表する研究発表の制作。

科 目	単位数	対象学年	開講期間	備 考
木材加工	3	3 年	通年	

《内容・目的》

3 年次からは各自の課題を設定し、集成材や無垢材を使用した家具や、暮らしの中で使用できる道具を制作する(木材加工)と、木工ろくろを使用した木地作りや2 年時の漆工芸をふまえた塗装技術を基に漆芸作品を制作する(漆芸)の2 つに分かれる。2 年次よりさらに専門的に進めることにより完成度を高めた作品づくりをめざし制作する。

卒業制作に関することについての調べ学習も含めて、研究発表用の資料を制作する。

《授業計画》

卒業作品の制作。

文化祭に発表する研究発表の制作。

科 目	単位数	対象学年	開講期間	備 考
漆工芸	3	3 年	通年	

《内容・目的》

3 年次からは各自の課題を設定し、集成材や無垢材を使用した家具や、暮らしの中で使用できる道具を制作する(木材加工)と、木工ろくろを使用した木地作りや2 年時の漆工芸をふまえた塗装技術を基に漆芸作品を制作する(漆芸)の2 つに分かれる。2 年次よりさらに専門的に進めることにより完成度を高めた作品づくりをめざし制作する。

卒業制作に関することについての調べ学習も含めて、研究発表用の資料を制作する。

《授業計画》

卒業作品の制作。

文化祭に発表する研究発表の制作。

陶芸デザインコース

《内容・目的》

陶芸に関する基礎的・基本的な技能を習得すると共に、日本の伝統文化の発展と創造に寄与する意欲と態度を養う。また、美的造形性や生産性を主とする立体造形のデザインについての理解を深め、計画力、作図・読図の能力を高める。

《備考》

＜校外研修＞

前期 5～6月に備前方面（陶芸美術館、窯元巡り）

後期 10～12月に岡山方面（日本伝統工芸展）

＜登り窯焼成実習＞

毎年10月に本校若松窯にて登り窯焼成実習を実施する。

《カリキュラム》

カリキュラム（科目） 教科：陶芸（学）				
科 目	単位数	対象学年	開講期間	備考
陶芸実習Ⅰ	4	2年	通年	
陶芸デザインⅠ	2	2年	通年	
陶芸実習Ⅱ	6	3年	通年	
陶芸デザインⅡ	2	3年	通年	

《授業概要》

科 目	単位数	対象学年	開講期間	備考
陶芸実習Ⅰ	4	2年	通年	

《内容・目的》

土練りやロクロ成型法を中心とした陶芸の基礎的な技法を修練する。

《授業計画》

1) 土づくり、土練りの練習

2) ロクロ成形練習

課題1 湯のみ

課題2 皿

これ以外に習熟度別の課題（花入れ、徳利）がある。また実技試験を定期的に行う。

科 目	単位数	対象学年	開講期間	備考
陶芸デザインⅠ	2	2年	通年	

≪内容・目的≫

- ・ 陶芸全般の基礎知識を理解する。
- ・ 鋳込み成形法を習得する。作品のデザインを考案する。

≪授業計画≫

- 1) 原土採取
- 2) 原料とその処理法
- 3) 陶芸に関するデザイン
- 4) 作品のデザイン

科 目	単位数	対象学年	開講期間	備考
陶芸実習Ⅱ	6	3年	通年	

≪内容・目的≫

- ・ 2年時に修得した技術や技法を用いながら各自の技能に応じた作品制作を進める。
- ・ 卒業作品を制作する。

≪授業計画≫

- 1) ロクロ成形
 - ・ 各自の技能に応じた作品（湯のみ、皿、徳利、花入れ、壺）を成形する。
- 2) 卒業作品の制作

科 目	単位数	対象学年	開講期間	備考
陶芸デザインⅡ	2	3年	通年	

≪内容・目的≫

- ・ 主に卒業制作研究を行う。各自が作りたい作品のデザインから技法までを研究する。

≪授業計画≫

- 1) 文献などによる卒業作品の研究およびデザインの考案。
- 2) 登り窯焼成理論

緑化システムコース

《内容・目的》

緑化システムコースで大きく飛躍しよう！

庭のデザイン、計画・設計、庭の施工及び管理、庭木類の管理・育成などの知識・技術を実際の体験学習を通して習得し、興味や関心がある問題や課題に対して自ら解決していく能力・態度・習慣を養う。

1. 庭の製作

デザイン、計画・設計、施工

2. 一人一研究、研究発表

3. 庭の管理

庭木、生垣などの管理・手入れ、芝生の管理

4. 庭木・草花類の繁殖、仕立て・管理

5. コンテナガーデン、寄せ植え盆栽の製作

6. 平板測量、水準測量

7. 校外研修

公園・庭園・植物園などの見学研修

《備考》

安全な実習の徹底

機械器具の点検・整備

機械器具の正しい使用法徹底

安全な服装の着用

安全確認、合図の徹底

その他必要な事項

《校外研修》

年間4回程度

岡山後楽園 栗林公園 足立美術館 頼久寺庭園 好古園

備中松山城 姫路城 など

《注意点》

積極的で活動的な研究心のある者、植物に興味・関心の強い者を望む。

《カリキュラム》

カリキュラム（科目） 教科：農業				
科 目	単位数	対象学年	開講期間	備 考
造園植栽	4	2 年	通年	
造園計画	4	3 年	通年	
造園施工管理	2	2 年	通年	
造園施工管理	4	3 年	通年	

《授業概要》

科 目	単位数	対象学年	開講期間	備 考
造園植栽	4	2 年	通年	

《内容・目的》

環境緑化のための植物の育成や造園空間の構成に使用する材料についての知識と技術を習得し、材料を適切に取り扱い、活用する能力と態度を育成する。実習では植栽・樹木の剪定、管理を行いより深く理解させる。

《授業計画》

1. 造園植栽の特色と役割
2. 植物材料
造園樹木・地被植物・花壇用草花
3. 岩石材料
岩石材料の種類と特徴
4. 校外研修（庭園見学）
岡山後楽園・島根足立美術館見学

《その他》

関連する情報の収集につとめ、学習への興味を高める。

- ・教科書
環境緑化材料（電気大）

科 目	単位数	対象学年	開講期間	備 考
造 園 計 画	4	3 年	通年	

《内容・目的》

周囲の環境や立地条件（状況）を考慮し、庭の目的・用途にマッチした適切な庭をデザイン、計画・設計し、実際に製作する庭の設計図を作成する。

《授業計画》

1. 庭のデザイン、計画・設計
 - ・デザインを考える
 - ・庭の構成要素、設計の基礎条件を考える
 - ・設計をまとめる
2. 測量
 - ・平板測量
道線法 製図
 - ・水準測量
切土 盛土 こう配の算出
3. 設計図の作成
4. 公園・庭園、植物園などの見学研修
スケッチ 感想文

《その他》

関連する情報の収集につとめ、学習内容を豊富にする。
グループ活動を中心にした学習を展開する。

- ・教科書
造園計画（実教）

科 目	単位数	対象学年	開講期間	備 考
造園施工管理	2	2 年	通年	

《内容・目的》

庭木の種類と特性を理解し、庭木の繁殖・育成と管理が適切にでき、特性に応じた利用ができる。

《授業計画》

1. コンテナガーデンの作成・管理
植物の特性と利用を理解する
2. ナチュラルアートの作成
3. ハイドロカルチャー、テラリム
4. 庭木・芝の管理
移植、刈込み、せん定、施肥、芝絵、芝焼き
5. 庭木類の仕立て方
針葉樹、常緑広葉樹、落葉広葉樹など
芝、こけ類 その他
自然樹形、人工樹形
6. 寄せ植え盆栽
7. 課題研究の実施

《その他》

新しい技術の紹介、情報の提供につとめる。

・教科書

造園施工管理（電機大）

科 目	単位数	対象学年	開講期間	備 考
造園施工管理	4	3 年	通年	

《内容・目的》

設計図の手順通りに施工するとともに、庭を維持・管理する技術を習得しながら、課題研究に取り組む。

《授業計画》

1. 庭の製作

敷地の造成と土壌改良

切土 盛土 排水対策 土壌改良剤などの施用

デザインと地割り

石組みと庭木の配置・植えつけ

四つ目垣、灯ろうなどの設置

芝やこけ類の張りつけ

2. 庭木類や垣など工作物の製作、維持・管理

庭木類のせん定、刈込み

生垣などの工作物の製作及び維持・管理

灯ろう、水鉢などの石材類

3. 庭木類の健康管理

病虫害対策

樹勢の回復対策

4. 課題研究の実施

一人一研究、研究発表

5. 寄せ植え盆栽

迎春用松竹梅

6. 門松製作

《その他》

新しい技術の紹介、情報の提供につとめる。

グループ活動中心の学習を展開。

・教科書

造園施工管理（電機大）

生活デザインコース

≪概要・目標≫

被服および食物などに関する専門的な知識と技術を習得し、健康な食生活を営み衣生活の充実向上を図る能力と態度を育てるとともに、広く美的感覚を養う。

≪校外研修≫

ホテルでのテーブルマナー

縫製工場見学

≪注意点≫

コース選択にあたっての条件として、被服製作・調理実習に意欲的に取り組める者が望ましい。

≪カリキュラム≫

カリキュラム（科目） 教科：家庭				
科目	単位数	対象学年	開講期間	備考
ファッション造形基礎	4	2年	通年	
ファッション造形基礎	4	3年	通年	
フードデザイン	2	2年	通年	
フードデザイン	4	3年	通年	

≪授業概要≫

科目	単位数	対象学年	開講期間	備考
ファッション造形基礎	4	2年	通年	

≪内容・目的≫

被服の構成を理解し、デザインや着用目的に適した被服材料を選択して被服を創造的に製作できるようにする。

≪授業計画≫

1. 衣服の構成
2. 衣服の素材
3. 洋服の製作

製作例

日常着（パジャマ パーカー）

≪使用教科書≫

「ファッション造形基礎」（実教出版）

科目	単位数	対象学年	開講期間	備考
ファッション造形基礎	4	3年	通年	

≪内容・目的≫

2年次の授業を発展させ、洋服の製作に関する理論と技術に重点をおいて取り扱い、計画にしたがって、洋服を効率的、創造的に製作できるようにする。

≪授業計画≫

1. 洋服の製作

製作例 （パンツ スカート ブラウス シャツ ワンピース ベスト）

2. 和服の製作

製作例 （じんべい ゆかた）

日常着に加え、外出着、服飾手芸品他、生徒の興味、関心、技術に応じて様々な実習教材を取り扱う。

≪使用教科書≫

「ファッション造形基礎」（実教出版）

科目	単位数	対象学年	開講期間	備考
フードデザイン	2	2年	通年	

≪内容・目的≫

栄養、食品、調理などに関する知識と技術の習得をめざし、実習を通して食事を総合的にデザインする能力と実践的態度を育てる。

≪授業計画≫

1. 食事の意義と役割
2. 調理の基本
3. フードデザイン実習

日本料理、西洋料理、中国料理の日常食、菓子

≪使用教科書≫

「フードデザイン 新訂版」（実教出版）

科目	単位数	対象学年	開講期間	備考
フードデザイン	4	3年	通年	

≪内容・目的≫

2年次の授業を発展させ、目的や条件に応じた献立作成ができ、各種の調理手法や多様な食品の取り扱い方を学習し、様々な食品に対して正しい調理ができることをめざす。

≪授業計画≫

1. 食品の特徴
2. 料理様式とテーブルコーディネート
3. フードデザイン実習

日常食、行事食、供応食、菓子

≪使用教科書≫

「フードデザイン 新訂版」（実教出版）

キャリアデザインコース

≪概要・目標≫

普通教科の学習理解を深め、上級学校で必要な学力の伸長を図るとともに、情報活用能力・将来設計能力を身につけ、自己の「生き方」を探究します。

≪求める人材≫

将来の目標に向かい、自己の可能性を伸ばすために継続的に努力できる者。また、四年制大学進学を視野に入れ、大学入学共通テストを含む学力試験に向けて、日々頑張れる者。

≪カリキュラム≫

<英語>

科目	単位数	対象学年	開講期間	備考
総合英語	2	2年	通年	インターナショナル コースと合同授業
	4	3年文系	通年	
	2	3年理系	通年	

≪内容≫

文法学習やリスニング演習を中心とし、大学入試等の受験にも通用する高度な英語力の習得を目指します。

※2年次と3年次文系はインターナショナルコースと共通の授業になります。

≪授業計画≫

専用テキストを用い、普段の授業では深く学習しないところまで文法事項を掘り下げて学ぶ。またリスニング演習を行い、大学入試、英検、TOEICにも対応できる英語力をつける。

<国語>

科目	単位数	対象学年	開講期間	備考
言語文化演習	2	2年	通年	文系対象

≪内容・目的≫

- ・ 1200字程度の論理的な文章を読解し、30～40字の記述力を身につける
- ・ 文章要約力の定着
- ・ 大学入試に必要な古文単語の習得
- ・ 古典文法（用言・助動詞・助詞・敬語）の習得
- ・ 漢文句法の基礎の習得

≪授業計画≫

- ・ 大学入試レベルの語彙力・漢字力を小テストの反復により蓄えながら、評論文・小説文を中心とした文章の読解に挑戦する。1000字程度の文章から、2000字程度の文章まで幅広く扱う。
- ・ 小テストの反復により、古文単語の知識を蓄える。また、演習問題に取り組みながら、古典文法や基本的な知識を押さえる。漢文については句法を中心に学習する。

科目	単位数	対象学年	開講期間	備考
現代文演習	2	3年	通年	文系 理系選択者

≪内容・目的≫

- ・ 2000～3000字程度の論理的な文章を読解し、40～70字の記述力を身につける
- ・ 大学入試レベルの過去問を解き、それに対応し得る読解力を身につける。
- ・ 現代文作品のもととなった古文作品などにも触れ、古典理解も進める。

≪授業計画≫

- ・ 3年次では、文章構成を意識しながら2000～3000字程度の文章に挑戦する。

<数学>

科目	単位数	対象学年	開講期間	備考
数学 C	2	2 年	通年	理系
数学演習	2	3 年	通年	理系内選択者
数学Ⅲ	4	3 年	通年	理系内選択者

科目	単位数	対象学年	開講期間	備考
数学 C	2	2 年	通年	理系

《内容・目的》

進学希望の理系の生徒を対象に実施します。現行課程では数学 B にある「ベクトル」および数学Ⅲにある「複素数平面」「式と曲線」が新課程の数学 C を学習します。難易度も高く、相当な基礎学力も必要となります。

《授業計画》

4 月より、通常の授業と同じように、教科書を中心に、問題集を平行して授業に組み入れます。

科目	単位数	対象学年	開講期間	備考
数学演習	2	3 年	通年	理系内選択者

《内容・目的》

数学Ⅰ・A・Ⅱの内容を復習しつつ、大学入学共通テスト対策を中心に、問題演習の解法に取り組めます。

《授業計画》

4 月より、数学Ⅰ・A・Ⅱの順で復習プリントや大学入学共通テスト対策問題集数学Ⅰ・A・Ⅱ・B（啓林館）を使用していきます。

科目	単位数	対象学年	開講期間	備考
数学Ⅲ	4	3 年	通年	理系内選択者

《内容・目的》

数学に強い興味や関心を持って更に深く学習しようとする生徒や将来、数学が必要な専門分野に進もうとする生徒が履修する科目です。

《授業計画》

数学Ⅲの教科書に沿って、極限、微分法、積分法を学習していきます。
並行して、大学入試の演習問題も 1 年を通じて実施します。

<理科>

科目	単位数	対象学年	開講期間	備考
化学演習	2	2年	通年	理系対象

≪内容・目的≫

化学基礎・化学の問題演習を行い、大学入学共通テストに対応できる学力を身に付けます。
化学をとおして探求心を養い、幅広い進路選択が可能となるような能力を目指します。化学が明らかにした物質の感動的な姿から真実を見る目、感動する豊かな心、そして生き抜く力を育みます。無機物質の中に合理的な整理の座標軸を導入し、自力で物質の変化の流れを解析する力をつけていきます。

≪授業計画≫

化学基礎・化学の授業進度に平行して実験や問題演習を行います。

原子の構造、化学結合、物質の量、酸と塩基、酸化還元、電池、電気分解、周期表 非金属元素、典型金属元素、遷移元素などの無機化学の問題演習を中心に行います。

春休み、夏休み、冬休みには演習課題（発展問題）を行います。

科目	単位数	対象学年	開講期間	備考
化学演習	2	3年	通年	理系対象

≪内容・目的≫

化学の問題演習を行い、大学入学共通テストに対応できる学力を身に付けます。
化学をとおして探求心を養い、幅広い進路選択が可能となるような能力を目指します。化学が明らかにした物質の感動的な姿から真実を見る目、感動する豊かな心、そして生き抜く力を育みます。また物質の中に合理的な整理の座標軸を導入し、自力で物質の変化の流れを解析する力をつけさせていきます。

≪授業計画≫

化学の授業進度に平行して実験や問題演習を行います。

炭化水素、酸素を含む脂肪族化合物、芳香族化合物、気体の性質、溶液の性質、コロイド、反応速度、化学平衡、糖類とタンパク質、合成繊維と合成樹脂、生命維持と化学反応などの有機化学の問題演習を中心に行います。

春休み、夏休み、冬休みには演習課題（発展問題）を行います。

<地理歴史>

科目	単位数	対象学年	開講期間	備考
世界史演習	2	3年	通年	文系対象

≪内容・目的≫

- ・副教材を使用して学習内容の整理、知識の習得を図ります。
- ・特に大学受験に頻出の近・現代史を中心にその実力の養成を図ります。
- ・世界史への興味・関心を高めるために歴史系博物館での校外研修を予定しています。
- ・調べ学習の成果をポスターセッション、プレゼンテーションにより、発表する機会を通して、言語能力の充実を図り、主体的・対話的な深い学びを経験します。

≪授業計画≫

前期 第一次～第二次世界大戦

教科書・資料・視聴覚教材を使用して深く学びます。

後期 第二次世界大戦後の世界

文化祭まで テーマに即したポスターセッション

調べた内容を模造紙にまとめて、文化祭で展示します。

文化祭後 テーマに即したプレゼンテーション授業

各自調べた内容でプレゼンテーションを行う

科目	単位数	対象学年	開講期間	備考
日本史演習	2	2年	通年	文系(日本史選択者)対象

≪内容・目的≫

- ・日本史Bでの受験に必要な知識の修得をめざします。
- ・特に大学受験に頻出の近・現代史を中心にその実力の養成を図ります。
- ・日本史への興味・関心を高めるために岡山市内の歴史系博物館での校外研修を予定しています。

≪授業計画≫

4月 近代国家の成立・自由民権運動と大日本国憲法

5月 初期議会と条約改正・列強の中国分割と日露戦争

6月 日露戦争後の政治と社会・近代産業の定着

7月 近代文化・第一次世界大戦と大陸進出

9月 大正デモクラシーとワシントン体制

10月 政党政治の展開・市民文化の時代

11月 中国問題と軍部の政治的台頭 歴史能力検定試験対策 問題演習

12月 日中全面戦争と第二次世界大戦・太平洋戦争 歴史能力検定試験 受験

1月 学年末考査

マンガ・アニメーションコース

≪概要・目標≫

クロッキーやデッサンの技術から、漫画やアニメーションの動きのある描写や成り立ちに関する基礎的、基本的な技能を習得する。また、世界的に人気の高い日本の漫画やアニメに関わることで、発想力を働かせ、企画、構成、演出を工夫してオリジナリティー豊かな作品を作り出す。

これらの制作活動により、観察力・洞察力を養い、豊かな発想力、確かな描写力とコミュニケーション力を持った人間豊かな人材の育成を目指す。

≪カリキュラム≫

カリキュラム（科目） 教科：美術・情報				
科 目	単位数	対象学年	開講期間	備考
絵画	4	2 年	通年	美術
コンテンツの制作と発信	2	2 年	通年	情報
映像表現	4	3 年	通年	美術
課題研究	4	3 年	通年	情報

≪授業概要≫

科 目	単位数	対象学年	開講期間	備考
絵画	4	2 年	通年	美術

≪内容・目的≫

マンガ、イラストで用いる道具の使用技術を習得できるようにする。素描の学習を継続し、マンガ、イラスト、アニメーションなど、時間や物語性などの表現の特性を理解し、描写するものの性質や色彩の持つ効果等を考えながら線の美しさや表情の多彩さ、一コマの中での時間の経過や動きなどの表現、豊かな感情・感性に満ちた内容を表現方法・技法を工夫して表現できるようにする。

アニメーションについて、時代や社会背景による表現内容や方法の変化・発展などについて学習を深める。

≪授業計画≫

- ・クロッキーを中心に、素描の学習を引き続き深めていく
- ・アナログ用具の扱い方を知る
- ・線や色や形が与える印象について知る（鳥獣人物戯画絵巻や北斎漫画から学ぶ）
- ・イラストレーション（付けペン・着彩）
- ・プロットとストーリーについて知る
- ・短編マンガ制作（起承転結を意識したストーリー展開・ネーム・付けペンによる作画）
- ・アニメの表現の変化と発展について知る

科 目	単位数	対象学年	開講期間	備考
コンテンツの制作と発信	2	2年	通年	情報

≪内容・目的≫

コンピュータにおける『図形・静止画・動画』の取り扱いについて理解を深め、実際にアプリケーションソフトウェアを用いて作品の制作を行うことで、コンピュータによる表現に関する能力を高める。また、著作権などの知的財産権についても学習し、適切にそれを扱う力を養う。

≪授業計画≫

- ・知的財産権とは
- ・形の表現方法（点・線・面・円・球・多角形・多面体）
- ・静止画（アナログとデジタル） デジタル画像の特徴 画像の編集
- ・動画の形式（画質・フレームレート） 動画の編集
- ・コマ撮りアニメーション制作

科 目	単位数	対象学年	開講期間	備考
映像表現	4	3 年	通年	美術

《内容・目的》

それぞれの映像表現に対応した使用技術の基礎基本を習得し、表したい構想を映像によって表現するために、企画・構成・演出することができるようにする。鑑賞では、国内外の特色ある作品を鑑賞することによって映像表現の良さを実感し、作者の意図と表現の工夫などを理解できるようにする。映像メディアが芸術や社会に果たす役割や映像表現の特性について理解を深めるとともに、映像表現の可能性を追求する態度を養う。

《授業計画》

- ・鑑賞（アニメの歴史・作家とその作品群を捉えその方向性を知る。）
- ・キャラクターのテーマと設定を考える
- ・アニメーションの制作についてのワークフロー、機器、用具の使い方を知る
- ・基本的な動作の作画テクニックを習得する
- ・マンガ・アニメのストーリー展開を考える
- ・マンガ・アニメーションの制作（絵コンテ・ネーム 作画 アフレコ ポスター制作など）

科 目	単位数	対象学年	開講期間	備考
課題研究	4	3 年	通年	情報

《内容・目的》

2年次までに学習したコンピュータによる表現の知識・技能を活用して、マンガやアニメーションの制作を行う。課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。

《授業計画》

- ・アニメーション制作
- ・マンガ・イラスト制作
- ・ポスター制作

～メモ～

選択科目ガイド（１年生専門基礎科目編）

はじめに

本校の特色の一つである専門コースは２年次から２・３年を通して履修することができます。但し、実習器具などの関係で受入人数に限界があり、希望者がコースの定員を超した場合は、第２・３希望のコースに振り分ける場合があります。

専門コースを選択するにあたっての基礎学習として、１年次で４つのコース基礎科目の授業を選択し、学習することができます。１年生の皆さんは、この授業を通してそのコースでどのような学習・実習をするのかを体験してもらい、その中より２年次からの専門コースを選択します。

「社会福祉基礎」「クラフトデザイン基礎」「陶芸デザイン基礎」「緑化システム基礎」「生活デザイン基礎」「マンガ・アニメーション基礎」は「専門基礎科目」として１科目につき週に２時間の授業で前期に２科目、後期に２科目を選択できるようになっています。

２年次からの専門コース選択について

１年次で選択した科目のコースと、情報システムコース・インターナショナルコース・健康スポーツコース・キャリアデザインコースを合わせた１０の専門コースから２年次の選択コースを進級前に調査します。２年生から希望する専門コースのことを踏まえて、基礎専門科目を選択してください。

令和７年度は次の科目を開講します。

専門コース	専門コースに関連する 専門基礎科目	単位数 (１週間の授業時間)	備 考
		１年	
福祉ボランティア	社会福祉基礎	１選	
クラフトデザイン	クラフトデザイン基礎	１選	
陶芸デザイン	陶芸デザイン基礎	１選	
緑化システム	緑化システム基礎	１選	
生活デザイン	生活デザイン基礎	１選	
マンガ・アニメーション	マンガ・アニメーション基礎	１選	
情報システム		専門基礎科目の開講無し	１年次必履修科目「情報Ⅰ」の成績による
インターナショナル		専門基礎科目の開講無し	中学校の学習内容がほぼ身につけていること。（英語・数学・漢字などの検定３級取得レベル）
キャリアデザイン		専門基礎科目の開講無し	
健康スポーツ		専門基礎科目の開講無し	健康スポーツコースは履修条件なし

*単位数の後の「選」は選択科目を表します。

*１科目は週２時間の授業で前期２科目、後期２科目を受講する。

*インターナショナルコース、キャリアデザインコースについては中学校の学習内容がほぼ身につけていることが選択の前提となります。

【授業概要】

福祉ボランティアコース

科 目	単位数	対象学年	開講期間	備 考
社会福祉基礎	1	1	前期・後期	

《内容・目的》

社会福祉をなぜ学ぶのかを考え、社会福祉の実態についての知識を得ると共に、人間の一生と社会福祉の概念について理解する。

《授業計画》

- 生活と社会福祉の関係についての基礎的なことを理解するために、社会福祉の普及、概念、人権、日本国憲法で保証されている社会福祉・社会保障についての知識を習得する。
- 実技・実習としてライフステージ疑似体験、レクリエーション実技、手話、点字の基本を習得する。

《使用教科書》

「社会福祉基礎 （実教出版）」

クラフトデザインコース

科 目	単位数	対象学年	開講期間	備 考
クラフトデザイン基礎	1	1	前期・後期	

《内容・目的》

- 木彫りの基本的な彫り方を、烏城彫りを通して理解を深め、彫ることによって創る喜びと学習意欲が授業実習の過程で生徒自身に自然に生ずるよう指導する。
- 木工口クロの初歩的な実習をすることで、木材加工の喜びを知る。

《授業計画》

- 木版画
木版画の歴史を学び、木版画制作を通して、彫刻刀の基本的な扱い方を学ぶ。
- 烏城彫り
 - 木彫りの基本を学習する。
 - ① 浮かし彫り
 - ② かご彫り
 - ③ らっかん彫り
 - 彫刻刀（右刀、左刀、丸刀など）と使い方について理解する。
 - 故事、格言をそれぞれの彫り方にしながら実習し、飾り盆として仕上げる。
- 鍋敷き作り
 - 鍋敷き作りを通して、ノコギリ、ノミなどの木工道具の基本的な扱い方を学ぶ。

《使用教科書》

学校作成の教科書・プリント

《備考》

漆塗りの仕上げは烏城彫り協会に委託している。

陶芸デザインコース

科 目	単位数	対象学年	開講期間	備考
陶芸デザイン基礎	1	1	前期・後期	

《内容・目的》

備前焼制作を通じて陶芸作品を作る楽しさを知る。

丁寧な土の扱いを通じて物を大切にする精神を養う。

《授業計画》

- 1) 備前焼について
- 2) 手練り成形法
 - ・玉造り
 - ・紐造り
- 3) タタラ成型法
- 4) 自由制作

《使用教科書》

学校作成の教科書を使用する。

緑化システムコース

科 目	単位数	対象学年	開講期間	備 考
緑化システム基礎	1	1	前期・後期	

《内容・目的》

草花類を育てる体験を通して、植物に対する興味・関心をもたせ、感動をおぼえたり、愛情をはぐくみ、慈しむ心を養う。

植物とふれあいながら、植物の形態、成長、特性などを学習し、私たちは植物にどのような恩恵を受けているか考察し、植物の重要性を理解させると共に快適な生活空間について考える。

《授業計画》

1. 植物を育てる
 - (1) 草花類を植える
プランターの準備。草花類の植えつけ。かん水・施肥、花殻摘みなどの管理。
 - (2) アレンジを楽しむ
草花類、コケなどを使用した草玉作り
2. 植物を知る
 - (1) 身近にある植物を調べる…コース制作の庭に使用している樹木より
植物の名前、形態、特性など。
 - (2) 植物のからだを調べる
根、茎（幹）、葉、花、種子（果実）の仕組みや役割。
 - (3) 植物の生育を調べる
 - ア. 生育を支える環境要素
光、温度、水分、空気、栄養
 - イ. 種子の発芽
発芽の様子を観察、発芽率などを調査
 - (4) おもな作用を学ぶ
環境問題と関連して考え、特に大気環境に対する植物の重要性を考える。
 - ア. 呼吸作用
 - イ. 光合成
 - ウ. 蒸散作用
3. 公園・庭園などを見学する…緑地の機能、生活空間を考える
 - ア. 岡山市足守 近水公園
公園・庭園の意義・役割・効果等について考える
 - イ. 重森三玲記念館と友琳の庭
本町出身の有名な造園学者を通して、日本庭園を研究する。
 - ウ. 快適な緑の生活空間をデザインする

《使用教科書》

学校作成の教科書・プリント

《校外研修》

- ア. 岡山市足守「近水園」
- イ. 吉備中央町吉川「重森三玲記念館」
- ウ. 吉備中央町豊野「友琳の庭」

生活デザインコース

科目	単位数	対象学年	開講期間	備考
生活デザイン基礎	1	1	前期・後期	

《内容・目的》

被服と食物の両分野を学習する。

被服及び、食物の基本的な知識と技術を習得することにより、日常の生活をより快適に創造する視点を育成する。又、実習を通して、作品を完成させる楽しさを実感し、意欲的な態度を育てる。

《授業計画》

*被服

型紙に補正を加えつつ、各自の体型に合ったエプロンを製作する。又、布の有効利用として、端切れを利用して、袋やクッション、ティッシュケースなどの小物を製作する。

*食物

被服で製作したエプロンを用いて調理実習を行う。

日本料理、西洋料理、中華料理、お菓子などの各料理の基本的な調理方法と食品の性質について学習する。

《使用教科書》

学校作成の教科書・プリント

マンガ・アニメーションコース

科 目	単位数	対象学年	開講期間	備 考
マンガ・アニメーション基礎（素描） （美術）	1	1	前期・後期	

《内容・目的》

マンガ、アニメーション、イラストレーションの全ての分野を学習するための基礎となる素描の学習を通して、造形的な見方、考え方を働かせ、美術に関する資質・能力を育成し、絵を描くことの楽しさ、喜びを知る。

対象のイメージや空間、形態などを把握し、表現材料の特性を理解し、表現を工夫しながら的確に観察する力と描写する力を高め、造形表現を追求する態度を養う。

《授業計画》

- ・自分漫画史の制作と作品のPR
- ・身近なものを描く（線で捉える 面で捉える 奥行きを意識する）
- ・人物を描く（骨格を知る 単純な線で人物を表す 人の形を捉える 特徴を捉える）
- ・人物とものを組み合わせて描く
- ・風景の描き方を知る
- ・キャラクターをデザインする（付けペンを使用・着彩も行う）

《使用教科書》

学校作成のプリント

参考書籍：線 1 本から始める伝わる絵の描き方 ロジカルデッサンの技法

鉛筆 1 本で始める 光と陰の描き方 ロジカルデッサンの技法

5分で人物を捉えるクロッキー 20日間速習帳

—— ヂモ ——